

リレー講義「表象文化とグローバリゼーション」

講演会

# 言語の横山オリガ グローバリゼーション

UCLA教授

皆さんはEnglishという単語に複数形Englishesがあることを知っていますか？  
グローバリゼーション時代と言われる今日、世界の言語がその影響でどうなっているのか、  
またこれからどうなっていくのか、言語を学び、教え、それを中心にして生きる  
私達「言語屋」は何を知らなければならないのか、何を喜び何を恐れ、  
あるいは何をすべきなのか、ということと一緒に考えてみましょう。

日時：2012年5月24日(木)  
16:00～17:30

場所：東京外国語大学 研究講義棟1階 101教室  
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

共催：総合文化研究所

お問い合わせ：沼野恭子研究室 [nukyoko@tufs.ac.jp](mailto:nukyoko@tufs.ac.jp)

《入場無料》

## ■ 横山 オリガ *Olga T. Yokoyama*

スラヴ言語学者。1979年ハーヴァード大学で博士号を取得して同大学でスラヴ言語学を  
講じ、1995年よりUCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)スラヴ言語学教授、2005年  
から同校応用言語学教授。現在、京都大学文学部大学院客員教授。

研究領域は広く、機能的統語論・意味論、談話文法、翻訳理論、ジェンダー言語学、スラヴ  
文献学など多岐にわたる。

### 《主な著作》

Yokoyama, Olga T. *Discourse and Word Order*. Benjamins:  
Amsterdam-Philadelphia, 1986.

Yokoyama, Olga T. *Russian Peasant Letters: Texts and Contexts*. 2 vols.  
Verlag Otto Harrassowitz: Wiesbaden, 2008.



東京外国語大学